

「魚類観察会」(平成30年7月22日開催)

観察会当日は「おけがや自然塾」と兼ねて開催したため、自然塾の子ども達とその保護者も加わり、一般参加者とあわせて46人の参加がありました。

観察会は、田原交流センター西側の桶ヶ谷川へ集合し、はじめに講師の野澤利治さん(魚類研究者)から水生生物の捕り方(たも網を動かして捕まえるのではなく、固定しておいで足で追い込む。)などの説明がありました。その後、桶ヶ谷川に入り約40分間採集をしました。

1 採集の様子

親子で参加したグループがほとんどであり、みんな楽しみながら川に入り、採集しました。暑さが厳しく、予定よりも短い時間で切り上げましたがたくさんの種類の水生生物が採れました。

2 採集した水生生物の分類

みんなで採集した水生生物を1カ所に集め、講師が分類し、種類ごとにバットに入れました。

3 観察と説明

分類した水生生物を種類ごとに透明のケースに移して観察しながら講師の説明を聴きました。

○観察した水生生物

- ・モクズガニ(食べるとおいしい。)
- ・テナガエビ、スジエビ
- ・モツゴ
- ・カダヤシ(グッピーの仲間、法律で飼育や移動が禁止されている**特定外来生物**。移動が禁止されている。)
- ・ミナミメダカ(日本にはキタメダカとミナミメダカいるが、この辺にいるのはミナミメダカ)
- ・タイリクバラタナゴ(中国から入ってきた外来生物)
- ・コイ、フナ(キンブナとギンブナに分類されていたが交雑により分類できなくなった。)
- ・ドジョウ ・スッポン

○「持ち帰った水生生物を飼えなくなったときはどうするか?」という質問がありましたが、講師から「採った所と違う所に放すと交雑する可能性あるので、違う所へ放さず、できるだけ最後まで飼いましょう。」という回答がありました。

○希望により採集した水生生物を持ち帰りました。

1 採集の様子



2 採集した水生生物の分類



3 観察と説明

